

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 新潟県新発田市
本事業の担当部局名 こども課こども家庭センター

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分		重点メニュー							
関連事業メニュー		3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成							
個別事業名		新発田市子育て支援気運醸成事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度	
総事業費(A)(円)		5,729,568		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0		差引額(A-B)(円)	5,729,568
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		5,729,568							
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総事業費	0	0	0	0	474,865	809,240		
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	474,865	809,240		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
	総事業費	4,445,463	0	0	0	0	5,729,568		
	対象経費支出予定額	4,445,463	0	0	0	0	5,729,568		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 全国的に少子化が進む中、当市の出生率も年々低下傾向にあり、令和5年の合計特殊出生率は、1.27であった。県平均の1.23をわずかに上回ったものの、婚姻率の低下や非婚化、晩婚化に歯止めがかかっていない。出生数は減少傾向にある一方、核家族世帯の増加に伴い孤立した状態での育児に心身ともに負担が大きくなっている。過年度に引き続き、SNSを活用し子育て世代を中心にタイムリーな情報発信を重点的に行うほか、結婚、出産、子育てのそれぞれのステージに応じた支援を行う。 <本個別事業の位置付け> ・子育て支援アプリを活用し、子育て世代向けの行政情報や育児情報を配信し、必要な相談機関につなげる。 ・24時間365日対応可能なAIチャットボットの活用により、切れ目のない相談支援体制を構築。 ・こどもまんなか月間に合わせ、車両用マグネットシートや新発田市子育てマスコットキャラクターぬいぐるみを活用し、啓発活動を強化する。 ・民間企業の参画を得ながら子育て応援きらきらカードの拡充を図る。						
個別事業の内容	番号	項目	内容						
	1	アプリを活用した子育て支援	・プッシュ通知による子育て支援情報の提供、WEB配信による教室・講座の開催通知、アプリ機能を活用した健診や予防接種履歴の管理支援など、幅広い子育て支援を行う。 ・新発田市子育てマスコットキャラクター「きらちゃん・りんちゃん」を各事業で活用し、親しみを持って利用してもらうことで、アクセス数や利用回数の増加を図る。 ※母子手帳交付時に妊婦全員に登録勧奨。 ※各相談会・教室、訪問活動等で事業周知を図る。						
	2	AIチャットボットを活用した子育て支援	・AIチャット機能を活用して、24時間いつでも対応可能な切れ目のない相談支援体制を構築し、子育てに関する相談に幅広く対応していく。 ・AIチャット機能で解決できない相談には、かかりつけ保健師が電話等で連絡を取り、寄り添いながら子育て世代の育児不安解消への支援を行う。 ・新発田市子育てマスコットキャラクター「きらちゃん・りんちゃん」を各事業で活用し、親しみを持って利用してもらうことで、アクセス数や利用回数の増加を図る。 ※母子手帳交付時に妊婦全員に事業周知、利用勧奨。 ※各相談会・教室、訪問活動等で事業周知を図る。						
	3	「こどもまんなか月間」の取組の推進	・マグネットシートで公用車を装飾し、市全体に広報啓発活動を行い、子育て世代を社会全体で支える気運を醸成する。 ・新発田市子育てマスコットキャラクターのぬいぐるみを作成し、活用することにより情報発信力を強化し、子どもや子育て世帯の興味・関心を高める。 ・SNSなどにおいて、子育てに関する取組に「＃こどもまんなかやってみた」をつけて発信するとともに、参加への呼びかけを行う。						
	4	子育て応援きらきらカードの発行	子育て家庭を地域全体で応援し、「安心して子どもを産み、子育てに喜びが持てるような街づくり」を目的として、民間企業の参画を得ながら子育て応援きらきらカードを発行し、保護者の経済的負担を減らし、子育て世代を日常生活の様々な場面で後押ししていく。						

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>
・子育て支援アプリ(母子モ)のアンケート結果から、母子手帳交付時のアプリ登録率が最も高いがその後、利用・活用についての周知が充分でないため効果的な活用がなされていない現状がある。機能要約を作成し、利用方法の紹介を徹底し、電子版母子手帳としての有効活用を図る。
・AIチャットボットのアクセス数が横ばいのため、業者と連携し低評価の項目について随時分析を行い改善を図る。また市事業(AIチャットボットから回答を導き出せる手続きや申請)にさらに活用できるものはないかを確認し、利用率が向上するよう検討する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻率			3.0(令和9年)	3.1(令和5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.27(令和5年)	
	婚姻件数		件	281(令和5年)	
	婚姻率			3.1(令和5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	アプリ利用者数	件	1,780 (R7年度)	1,305 (R6年度見込)
	②	かかりつけ保健師による相談件数	件	6,300 (R7年度)	5,316 (R5年度)
	③	子育て応援きらきらカード交付件数	件	6,300 (R7年度)	6,071 (R5年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	AIチャットボット利用者の満足度	%	80 (R7年度)	78.6 (R6年度見込)
	⑤	健やか育児アンケート(新発田市で子育てしていくことへの意欲)	%	75 (R7年度)	73.8 (R5年度)
	⑥	現在の生活に対する幸福度(子ども・若者意識調査)	段階	7.5 (R10年度)	7 (R5年度)
	⑦				
	⑧				